

01

January 2022

知っているようで知らない精華町

その魅力を再発見するタブロイド。



公園では遊ぶけれど、
水景園は入ったことがない?
それは、もつたいない!
さつそく出かけましょ!

けいはんなプラザからの日の出・水景園の竹林



本文はこちらのQRコードから
オンラインでもご覧頂けます。

み
づ
け
る
seika

けいはんなプラザから、南山城のなだらかな丘陵に向かい、大きく深呼吸。
新年の空に昇る太陽がまちの目覚めを促し、みなさんを明るかに照らします。
始まった2022年、まっしろなキャバスに、さて、何を描きましょうか。
「家族との大切な時間を持とう」「勉強を、仕事を頑張ろう」「趣味を充実させよう」「あれこれ、夢は膨らみます。」

もう一つ、みづけるから、みなさまに提案します!
「知っているようで知らない精華町、その魅力を再発見しませんか」
歴史ある地域の住民も、光台や精華台など新しいまちの住民も。
みづけると一緒に探訪しましょう。
きっと、ふるさとが大好きになり、誰かに自慢したくなるはずです。
初回は、けいはんな記念公園「水景園」です。

水景園

盛りだくさん

見どころ



巨石群を抜けると、趣ある紅葉の庭園が迎えてくれます。若葉の頃、そして、燃えるような紅葉の秋に再び訪れるのが楽しみです。橋の終点はギャラリーや相楽木綿伝承館がある観月楼。休憩スペースもあり、ほっこりひと息。これから森歩きに備えましょう!

左手、起点となるビジターセンター前には棚田があります。初夏には田植え、秋は稻刈りが営まれ、日本の里の四季を再現します。池では沢飛び石を渡って遊ぶ人も。鮮やかな鯉たちが動く池の模様のようです。

観月橋の右手に目を向けると、奇観にびっくり。高さ6.7メートル、重さ何トンもの巨石が150メートルに渡って屏風のように立ち並びます。石は「錆石」と呼ばれて珍重された岡山県犬島産の御影石。島で切り出され、瀬戸内海を渡って大阪湾に上陸、トレーラーではるばる精華町にやってきました。地上に降りれば巨石の間を歩くこともできます。水しぶきが掛かる滝もあり、穏やかな水景園の風景と違い、荒々しい太古の自然を探検家気分で味わえるエリ アです。

人々が憩う広場から、谷あいの小川沿いに梅林を経て竹林の小径へ。こどもたちの歓声もやがて遠く、樹々の葉擦れと鳥の声が森へと誘います。

公園は、けいはんな学研都市（関西文化学術研究都市）建設を機に整備され、ことし27年を迎えます。年月を経て、從来からある永谷池周辺の里山と、新しく配置した橋や建物が溶け合い、ここにしかない風景をつくっています。

まずは、シンボルの観月橋を渡りながら、全体を見渡しましょう。

けいはんな記念公園の「水景園」「芽ぶきの森」エリアの入口です。一歩なかに入れば、周囲のまちからタイムスリップ、まるで旅に出たようです。森林浴をしながら池の周囲を巡れば、懐かしい気持ちに心が満ちてきます。



「大正四年十一月竣工」とあります



永谷池は京都府の鳥獣保護区に
指定されています



観月橋には地動説を唱えたコペルニクスがカラスに乗って月を見上げます。立体格子の上ではガリレオの子孫たちが逆立ちしたり、寝そべったり。あなたを思索の旅に誘います。イタリアのフェデリコ・ボナルディ作。

散策のポケットに 充実のガイドマップ

花や鳥、虫たちの季節や生息場所を知れば散策はもっと充実。公園では「花暦」「紅葉」「花に集まる生き物」「野鳥」など5種のガイドマップを用意。4エリアの自然をオールカラーで紹介します。あなたはいくつ会えるかな。各100円

地域文化を知ろう 相楽木綿伝承館

明治から昭和10年頃に作られた相楽木綿は、藍染の紺地に色糸の縞と絣模様を織り込んだ上品な風合いが特長。観月樓地階の伝承館では各工程を紹介、相楽木綿の会の手ほどきで体験も。(冬期休みあり)

information

けいはんな記念公園 水景園

- 相楽郡精華町精華台6-1
- 9:00～17:00
(入園16:30～夜間開放日は延長)
- 入園料 水景園(芽ぶきの森含む)
一般200円 小・中学生100円
未就学児は無料。
各種割引あり。詳しくは事務所へ
- 年末年始(1/2/8～1/4)臨時休園有
- <https://keihanna-park.net/>
0774-93-1200
(けいはんな記念公園管理事務所)



精華町観光ポータルサイトから、
まちの魅力をみつけてください！



水景園ではコンサートやジャズ・ライブはじめ、天体観測、夏のホタル観賞会や秋の観月の夕べ、展覧会、園内の花や樹々を活用した教室など、四季を体感できるイベントがいっぱい。花壇整備のボランティア活動、乳児から自然に触れる「ひなっこクラブ」もおすすめ。ぜひHPをチェックしてみてくださいね。

新しい
ふるさと
です。

訪ねる時間と重ねるうちに
水景園はもう、あなたの

ひとり時間もいいですが、さまざまにイベントに参加すれば、気の合う仲間にきっと出会えます。

池沿いの周遊路に戻り、木守りの柿の向こうに里棚田が見えました。ぐるり約1・2キロ、一小時間が目安ですが、ベンチで本を読んだり、ギャラリーを覗いたり、野草のかれんな花々が目を楽しませてくれるでしょう。

こうに里棚田が見えました。ぐるり約1・2キロ、一小時間が目安ですが、ベンチで本を読んだり、ギャラリーを覗いたり、野草のかれんな花々が目を楽しませてくれるでしょう。

「みつける」一番のおすすめエリアは、南山城の里山をそのまま生かした「芽ぶきの森」です。

この永谷池は江戸期の記録にも残るため池で、土地の記憶を伝えるモニュメントが点在します。池の北西端あたり、トンネル状の小さな煉瓦組と出会いました。以前、このあたりは京都の暮らしを支える穀倉地帯でした。精華町を南北に貫く煤谷川から農業用水を引くため、隧道2本の大工事を着手したのが大正4(1915)年。地域の誇りでもある歴史を伝えるため、当時の記念碑を移設し、隧道の出入口を復元したそうです。

芽ぶきの森

